

令和5年度
東部教育局主催
社会教育研修会学校と地域が主体となる持続可能な今後の中学生トーク
プログラムCHA³の創出や来年度の方向性について協議

令和6年2月20日(火)、本年度東部地区でCHA³プログラムを実施した5つの中学校管理職の方々に出席をしていただき、標記の会を開催しました。CHA³は、中学生、大学生、地域の大人が少人数のグループになり、働き方や生き方等のテーマに沿って自由に話をする中学生のための教育プログラムです。アンケート等において自己肯定感や地域への貢献意識等の向上が見られますが、継続するためには様々な課題解決が求められていることも事実です。今号外では、研修会での、学校と地域が主体となる持続可能なCHA³プログラムの可能性や、今後の方向性についての協議の一部を紹介します。

①本年度CHA³プログラムを実施した中学校管理職によるトークセッション

CHA³とは？

- Chance：中学生が地域の大人や大学生と出会う機会
- Change：多様な価値観と出会い自分を変える
- Challenge：少し先の目標を持ち様々なことに挑戦する

3つのChaで
子どもたちの積極性や
自尊感情を育てます！

CHA³の効果や成果

中学生：安心して楽しく話せる。将来に希望を持てる。地域の大人との出会いがあり、実施後の日々の生活にもつながる。親や先生以外の大人に進路相談ができる。

参加者：大学生、地域の大人も含めた全参加者の満足度が高い。郷土愛が深まる。 など



みんなが
笑顔に！

学校と地域が主体となってCHA³を実施する場合の難しさや課題

参加者集め：地域の大人の年齢層や職種の偏り。大学生の確保。

中学生：CHA³実施直後の中学生の意識をいかに持続させるか。

運営：全体司会者やファシリテーターの人材確保や養成。大学生の移動手段や経費の確保。 など



どうする？

②所属や地域ごとに協議

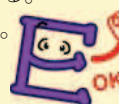
協議で創出された課題の解決方法

参加者集め

- ・地元企業若手従業員の新入研修や役場若手職員の研修に位置づける。
- ・青年団や高校生、公民館など今ある地域の団体に声をかける。
- ・教職課程で単位を取得する大学生以外にも参加できるようなCHA³サークルを設立する。
- ・大学生の動きについては、全体を把握することができる県教育委員会事務局担当課が引き続き調整する。

運営

- ・中学校卒業時や成人式の際に登録バンクを作る。
- ・開催を大学生がより参加しやすい時期にする。
- ・町のバスを使って大学生の送迎を行う。
- ・司会者養成プログラムを実施する。
- ・普段から地域コーディネーターが、司会ができそうな地域の人やPTA関係者、元教育関係者とのつながりを作っておく。 など



様々なアイ
ディアが出
されました！



地域学校協働本部のネットワークを活かすことができそうです。

各学校や地域の強み及び今あるつながりを活かしながらトークプログラムを展開し、ふるさとキャリア教育をより一層推進していくことが望まれています。そして、このようなトークプログラムの実施により、子どもたちが自分らしい生き方を実現していくとともに、将来にわたりふるさと鳥取を思い、様々な場面でふるさと鳥取を支えていくことができる人材育成の一助となることを期待しています。